

衆議院環境委員会ニュース

平成 29.4.18 第 193 回国会第 12 号

4 月 18 日（火）、第 12 回の委員会が開かれました。

1 環境の基本施策に関する件

- ・山本環境大臣、関環境副大臣、比嘉環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

斉藤鉄夫君（公明）

- ・地球環境問題、廃棄物問題を解決する上でも環境省が実施している環境カウンセラーの活用は有効であると考えているが、環境省としての認識を確認したい。
- ・GDPによる経済成長がある中で、平成 27 年度の温室効果ガス排出量が削減したことについて、経済成長率と温室効果ガス排出量のデカップリングが始まったということが今回の排出量確定値の大きなポイントであると考えているが、山本環境大臣の考えを伺いたい。
- ・日本の温室効果ガス削減目標「2030 年に 26%削減」に向けた山本環境大臣の決意を伺いたい。

塩川鉄也君（共産）

- ・物流拠点の低炭素化促進事業の概要、実績、効果を環境省に伺いたい。
- ・アスクル株式会社の倉庫火災について、出火原因は何だったのか、消防庁に伺いたい。
- ・初期消火の体制について、自衛消防と現場における指揮命令系統の関係に課題はなかったのか、消防庁に伺いたい。

福田昭夫君（民進）

- ・栃木県日光市における木質バイオマス発電所の株式会社トーセンによる建設計画に関し、木質バイオマス発電事業に係る補助金につき、補助要件の事実関係を林野庁が実施要領に基づき検査すべきと考えるが、同庁に伺いたい。
- ・同発電事業計画に係る東京電力との接続契約締結と本年 4 月からの改正FIT法施行に伴う新たな固定価格買取制度との影響について、林野庁に伺いたい。
- ・放射性物質汚染対処特措法及び同法に基づく基本方針

の今後の見直しに向けた考え方について、環境省に伺いたい。

太田和美君（民進）

- ・ドイツのベルテルスマン財団が公開した我が国のSDGs達成状況の評価について、山本環境大臣の認識を伺いたい。併せて、その評価においてクリーンエネルギーについては達成にほど遠いとされた理由及び今後の対策についても伺いたい。
- ・我が国ではSDGsの認知度が高いにもかかわらず、企業の取組みが進んでいない現状にある。企業のSDGsへの対応を促進するための対応策について、山本環境大臣の見解を伺いたい。

河野正美君（維新）

- ・サンゴの大規模な白化が海洋生物の生態系に与える影響について、現時点で想定できる範囲で環境省に伺いたい。
- ・再生可能エネルギーの開発及び活用の可能性に関する山本環境大臣の見解を伺いたい。

玉城デニー君（自由）

- ・環境省のレッドリストにおける絶滅危惧種は現在 3596 種が指定されており、減少要因として外来生物による影響が非常に大きいと思料されるが、外来生物法における特定外来生物の指定等の現況について、環境省に伺いたい。
- ・埼玉県では特定外来生物であるアライグマが急増しているが、特定外来生物によってもたらされる全国的な在来種に対する被害の状況について、環境省に伺いたい。

2 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 33 号）

- ・山本環境大臣から提案理由の説明を聴取しました。

本ニュースは、速報性を重視した概要版として事務局において作成しているものです。
詳細な内容については会議録を御参照ください。